

平成 19 年 9 月 教育委員会定例会会議録

1 開会の日時

平成 19 年 9 月 14 日（金） 午前 9 時 00 分

2 出席委員

奥寺 康彦	委員長
出光 ケイ	委員
齋藤 道子	委員
三浦 溥太郎	委員
永妻 和子	委員（教育長）

3 出席説明員

管理部長	大坂 茂夫
管理部長総務課長	長澤 潤
管理部長学校再編担当課長	奥田 幸治
管理部長教職員課長	阿部 信行
管理部長総合高校担当課長	井上 昭
管理部長学校管理課長	高田 利男
生涯学習部長	外川 昌宏
生涯学習部生涯学習課長	永塚 高行
生涯学習部学校教育課長	渡辺 浩
生涯学習部学校保健課長	横山 治久
生涯学習部スポーツ課長	大場 智和
教育研究所長	阿部 優子
中央図書館長	根本 博行
自然・人文博物館博物館運営課長	柳田 泰光

4 傍聴人 なし

5 議題及び議事の概要

委員長 開会を宣言

委員長 本日の会議録署名人に三浦委員を指名した。

教育長報告

前回の定例会から本日までの報告事項

(永妻教育長)

それでは平成 19 年 8 月 25 日から本日までの所管事項について報告させていただきます。初めに市議会に関してです。8 月 28・29 日の 2 日間、横須賀市議会 6 会派の会派勉強会が行われました。勉強会では教育委員会から主要な事業について何点かご説明申し上げ、質疑応答を行いました。また来週 18 日から、平成 19 年横須賀市議会第 3 回定例会が、30 日間の会期で開催されます。この議会は平成 18 年度の決算に関する審議が主なものとなりまして、教育委員会が昨年度取り組んだ内容について説明を申し上げることとなります。もちろん積極的に事業を展開いたしましたが、万が一ご指摘をいただいた場合には、真摯に対応していきたいと考えております。この定例会には、前回でご承認いただいた授業料の改定と横須賀総合高校のグラウンド整備工事の変更契約が議案として 2 件あげられておりますので、併せてこのなかで審議させていただきます。

続きまして教育基本計画推進委員会についてです。9 月 4 日に本年度第 1 回目の教育基本計画推進委員会を開催いたしました。この委員会は平成 13 年度に策定いたしました教育基本計画の進捗状況、教育委員会における取り組みなどの進行管理を行うもので、学識経験者、関係団体から推薦を受けた方、公募市民の方などで検討を行ってまいります。9 月 4 日は、今年度の新たに委員になられた方を含め 14 人が出席し、本年度の進行管理方法などについて意見交換を行いました。本年度はあと 2 回会議を開催する予定となっております。

最後になります、市立学校長会議の開催でございます。9 月 5 日に教育研究所で本年度第 3 回目の市立学校長会議を開催いたしました。この会議は毎年 4 月、7 月、9 月、12 月、3 月と 5 回行っており、市立学校の全校長と教育長以下教育委員会の部長及び関係課長が集まります。この会議では教育委員会からの案件の伝達、意見交換などを行っておりまして、教育委員会と学校長が意思疎通を図る重要な機会と位置付けております。今回の会議では、先月の教育委員会でも議題となりました市立小・中学校の適正規模および適正配置に関する実施計画などの案件につきまして、話し合いをさせていただきまして、意見交換などを行いました。以上で報告を終わります。

(質問なし)

(委員長) 報告事項を聴取することを宣言

報告「損害賠償調停について」について

(学校保健課長)

本市ほかを相手方とした損害賠償調停申立てについてご報告申し上げます。

恐れ入りますが、資料1枚目をご覧ください。調停申立ての原因となりました事故の概要は、平成18年10月20日、午前11時10分ごろ、横須賀市立中学校校庭で行われておりました体育、試合形式でのソフトボールの授業中に、打席に入っていた3年生男子生徒が、投球に対して振ったバットが手元から離れ、打順を座って待っていた同級生の男子生徒の顔面に当たり、この生徒が前歯4本を喪失し、同2本が欠け、折れたものであります。

調停の申立人は、被害生徒及びその両親であり、相手方は横須賀市と加害生徒及びその両親であります。申立人の請求内容は、歯牙喪失前の有歯状態に近い状態に戻すための治療に要する費用、障害慰謝料等の損害賠償であります。

4月に調停申立てがなされ、6月に第1回、8月に第2回調停が行われております。民事調停は非公開で行われますので、ただ今申し上げました2回の調停の内容につきましては、簡略に記載させていただきました。なお、調停申立ての理由といたしましては、当初、関係者間に本件事故に対する認識の違いがあったことから、申立人としては、調停による解決を望んだのではないかと推測されます。

本市といたしましては、学校管理下の受傷事故であることに鑑み、本調停に誠実に対応してまいります。なお、本件については、おって市議会第3回定例会にも報告いたすことを申し上げて、報告を終わります。

(出光委員)

今のお話を伺うと、去年事故が起こった際の初動に関して、申し立てをなさった生徒側と何か行き違いがあったようにも推察できるのですが、いかがでしょうか。

(学校保健課長)

調停申し立ての原因と推測される認識の違いというご質問かと思えます。本件事故に関しては、行為生徒と授業を管理していた学校側の責任割合について認識の違いがあったということでございます。

(出光委員)

それについてもう少し詳しくお話いただけますか。どのように食い違っていたかを教えていただけますか。

(生涯学習部長)

先程課長から申し上げましたとおり、調停が非公開で行われていますので、情報としてはっきり申しあげることが難しい訳でございますが、その点をご理解いただきながら、言葉を選んでお話させていただきます。まず、体育の授業で、バットが手元から離れたその離れ方の問題で、最初の方の情報では、バットを投げたというような言葉がありました。投げたといいますと、いろいろな言葉が推測されますので、そこで、体育の授業というなかであります。学校と加害生徒との保険の責任の応分の割合について認識の違いがあったのではという風に考えております。そこで、被害生徒の方が、当時3年生で、卒業を期に、学校または教育委員会との話しということで、また加害生徒と学校が離れるということで、調停ということに持っていったのかなと思われま。

(三浦委員)

治療費はどのくらいになりますか。

(生涯学習部長)

これも大変お話するのが難しいのでありますが、治療費・慰謝料全て込みで、被害者側が申し立てている金額が、約1千万円を超える額を請求されているということでもあります。

これについて誠実に対応していきたいと考えておりますので、保険適用のなかで考えていきたいと考えています。

(委員長)

申し立ては、学校に対してですか。

(生涯学習部長)

今申し立てをされているのは、加害者生徒の親と市に対してです。

(出光委員)

事故の際、勿論先生がいらしたかと思うのですが、先生の対応についてはどうだったのでしょうか。

(生涯学習部長)

ソフトボールの授業ですが、これは私どもが考えているなかで、きちっと注意もし、バッターボックスとネクストバッターボックスの間も空け、それなりに配慮はされていたと考えております。それでも事故が起こったというなかで、先程申し上げましたように誠実に対応していきたいと考えております。

(三浦委員)

再発防止という点では、対策などをされていますか。

(生涯学習部長)

再発防止につきましては、学校長会議などで、今回のケースだけではなく学校事故について防止を考えていただきたいということで注意喚起をおこない、同時にこの学校につきましては、ゲージを買いまして、再発防止に努めております。

(斎藤委員)

被害を受けた生徒さんと加害生徒の間には、いじめの問題などはなかったのでしょうか。

(学校保健課長)

特にいじめ等の事実はありません。たまたま授業中の事故で、一方が行方生徒になり、一方が被害生徒となったということでございます。

(出光委員)

もう一度伺わせていただきたいのですが、投げたか、手が離れてしまったかという受け取り方の違いが出たのでしょうか。

(学校保健課長)

今回の調停に係る根幹の部分にあたりますので、大変申し上げにくいのですが、実際に投げたまたは手が離れた、この事実認定で、被害者側とそこで冷静に見ていた側と判断や印象が違うということがございます。事実としては、投球に対してスイングをし、バットとボールがあたりまして、ショートゴロを打ったということがございますので、その後、注意が足りなかったのかどうかわかりませんが、手からバットが離れるという事実がございますので、わざと空振りをしてそのものに向かって投げたという事実

はございません。そのあたりの受け取り方の違い、認識の違いだったのではと推測しております。

(奥寺委員長)

私も経験があります。打つんだけど、その後パッと手を離してしまう。特に慣れてないと本当に、バットに当たってもそのまま手を離してしまうことがありますよね。

(他に質問なし)

報告「大縄跳び(チームジャンプ)大会について」および「よこすかスポーツフェスタ 2007 開催について」について

(スポーツ課長)

次第では2点の報告ということになっておりますが、先月の24日定例会以降10月上旬にかけてのスポーツ課の事業について報告させていただきます。

まず、7月・8月につきましては、夏休み期間ということもありまして、主に児童・生徒を中心に事業を展開してまいりましたけれども、9月に入り、3日の日曜日には小学校の学区の方々の代表によりまして、第47回学区対抗成人球技大会を開催いたしました。追浜公園の第1・第2・第3野球場、不入斗公園の第1・第2野球場そして、不入斗中学校の6ヶ所で成人ソフトボール大会を実施し、また横須賀アリーナとサブアリーナにおいて成人女子のバレーボール大会を開催いたしました。ソフトボールにつきましては39の学区636名、バレーボールにつきましては、31の学区378名延べ1,014名の選手及びそれに多くの地区の方に声援をいただきまして、盛大に開催されましたことをここにご報告いたします。なお、その結果につきましては資料に記載のとおりで、各ブロックでの優勝とさせていただきました。

続きまして、大縄跳び大会でございます。市政100周年記念事業ということで謳っております。この大会につきましては、明後日(9月16日)に予定されております。この大会は、第1回から横須賀青年八日会という、横須賀市内の若手実業家が、開国祭に併せて提案をし、始めたものであります。100周年ということもあり、とにかく横須賀を盛り上げようと、昨年度から横須賀市の共催で、プレ大会それから本年度、本番という形でやっていく予定であります。今年も多く的小学校・中学校に参加していただこうと呼びかけをいたしまして、おかげさまで、47チーム、選手として1,400名の参加申込をいただきました。横須賀アリーナで行います。また練習会場としては、サブ

アリーナを予定しております。参加選手は、小学生がほとんどでありますので、その応援で保護者の方等の来場が予想され、多分アリーナは満員になると考えております。大会につきましては、横須賀アリーナで、2チームずつの対戦によりまして予選を行い、予選を勝ち抜いた8チームによって競い合うということになります。3分間で何度も挑戦でき、そのなかで一番長く跳び、回数を競い合うルールになっております。横須賀の場合は、20名以上25名以下という規定により行うものですから、チームの団結力が求められます。また練習も、小学校ごと、チームごとで、かなり練習をしているようでございます。昨年も熱戦で大変盛り上がりましたので、今年も楽しみであります。ちなみに昨年の小学校の優勝回数は60回、大会記録は70回、中学校の昨年の優勝は33回、大会記録は59回と、小学生が上回っているということでございます。時間がございましたら、ぜひご覧いただきたいと思っております。

続きまして、10月8日、体育の日のイベントということで予定させていただきました。多くの市民に、体を動かす楽しさやスポーツの楽しさを少しでも知っていただこうと、家族で誰でも参加できるような形で、昨年より開催させていただいております。

今年は横須賀アリーナ、サブアリーナ、不入斗陸上競技場の不入斗公園を中心会場として、北体育会館、南体育会館、西体育会館そして久里浜の花の国のアーチェリー場、ビームライフル場、そして明浜小学校の各会場をお借りして、軽スポーツ・レクリエーション種目を主に実施をしていこうという計画でございます。これにはホームタウンチームでもございます、サッカーの横浜Fマリノスやバスケットの東芝に昨年もおいでいただいております、今年も協力をしていただいております。当日は自由参加になっております。また全て無料で、温水プールも開放していきたいと思っております。昨年はPRのしかたもまずかったこともあり、また初めてということもありまして、約3,000名という参加で終わってしまったのですが、今年はなんとか5,000名を目標に掲げて、さまざま広報活動もしております。その1つとして、A3版のカラーでお示しましたが、これは首都圏で販売をされている雑誌で、首都圏で行われている体育の日を含めたスポーツフェスタの紹介欄ですが、横須賀が一番大きく取り上げられたことで、非常にうれしく思っております。この効果が出ればと期待しております。ぜひまた足を運んでいただければと思っております。

最後になりますが、今月の29日から10月9日にかけて、秋田県で行われます国民体育大会の神奈川県代表選手の記者発表が本日行われます。それに先立ちまして、横須賀の監督・選手が全て判明しておりますので、一覽でお示しさせていただきました。

県の選手団は約 600 名、横須賀は約 50 名で選出されましたので、今年もまた活躍を期待したいと思っております。特に今年はメインのものというのはないのですけれども、是非期待をしていただければと思います。

また資料はないのですけれどもその他として、「元気な横須賀まちづくり」をスポーツでということ、各団体と連携を図りながら進めております。10 月の月上旬までの間には、9 月 26 日に柔道協会と連携をしながら、井上康生さんをお呼びして、横須賀市の中学生を対象に柔道教室の開催を予定しております。それから 10 月 2 日には、大相撲横須賀場所実行委員会によりまして、白鵬関の横綱昇進報告会、これは宮城野部屋が毎年横須賀でのサマーキャンプを行っており、白鵬関も横須賀で 16 歳から育ったという経過がございますので、そのような報告会を行う予定です。いずれも横須賀アリーナで行う予定でございます。それから 10 月 6 日には体育協会によりまして、プロ野球の湘南シーレックスの田代富雄監督の講演会等も予定しています。また現在は毎週各学校で体育祭が行なわれており、10 月の月上旬まで行われる予定でございます。それから各市内のスポーツ施設におきましては市民体育大会、39 の種目がございますが、そのうち 37 が現在展開中でございます。以上で報告を終わらせていただきます。

(質問なし)

報告「市制 100 周年記念事業・特別展示「横須賀の近代建築～建造物が語る先進都市ヨコスカ～」について

(博物館運営課長)

それでは、博物館運営課より、特別展示「横須賀の近代建築」についてご報告させていただきます。自然・人文博物館におきましては、昭和 58 年度の第 1 回特別展示「黒船の来襲」以来、多い年には、3 回開催するなど、毎年特別展示を実施しております。市制 100 周年記念事業・特別展示「横須賀の近代建築」は、自然・人文博物館として 40 回目の特別展となりますが、今回の展示は、映像で多数の初公開資料を展示するなど、映像展示を充実させている点に特色があります。パネルの総数は 30 点余りで、展示物は 50 程度になります。また、パネル内の 100 点程度の資料に加えて、4000 点を超える資料を映像で紹介しております。

資料の 1 ページをご覧ください。開催期間は平成 19 年 9 月 1 日から平成 20 年 2 月 29 日までの半年間で、開催場所は、深田台にあります自然・人文博物館 3 階の特別展示室でございます。展示は、4 つのコーナーから構成されて

おります。お手元の資料の 2 ページには主な展示品、3 ページにはレイアウト図を、ページはありませんが、カラーの特別展チラシを添付しておりますので、ご参照ください。パネルと実物資料のコーナーでは、先ず、横須賀造船所の副首長ティボディエの官舎の部材や図面を展示しております。ここでは、後に富岡製糸場にも伝えられた「木の柱の間に煉瓦を充填する構造」なども分かり易く紹介しております。この展示スペース周辺では、主に横須賀造船所の西洋建築やドライドックなどの歴史を紹介しております。これに続くスペースでは、旧海軍による先駆的な技術とデザインの導入の様子を紹介します。例えば、日本初の鉄骨造の建物の設計者は、横須賀造船所で技術を学んだ人物でした。また、明治 41 年に完成した走水水源地の浄水池の建物は、鉄筋コンクリートの建物としては、国内で最も古いものの一つです。更に、横須賀では、多くの近代建築に、世界の先端を行くデザインが採り入れられております。大正 10 年に完成した逸見浄水場などがその例です。これらを写真や図面、建築部材を交えて展示しております。

お手元に配布いたしました資料には、横須賀製鉄所と横須賀造船所という名称が出ておりますが、建設当初は、横須賀製鉄所で、明治 4 年横須賀造船所に改称されたもので、報告では、横須賀造船所と統一させていただきます。100 インチ大画面映像コーナーでは、3 次元映像で再現した明治初期の横須賀造船所内のバーチャルツアーを行うことが出来ます。特に、ドライドック周辺、フランス人官舎街では、来館者が映像内を自在に散策する事が出来ます。

また、平成 20 年 1 月 4 日からは、ヴェルニー没後 100 年、日仏交流 150 周年を記念して、首長ヴェルニーの官舎の映像展示を行います。

歴史資料の閲覧コーナーでは、4000 点を超える資料を画像で紹介します。ここでは、浦賀の 1 号ドックの設計者の親族に伝来した、横須賀造船所、浦賀ドックなどの建設当時の図面のコレクションを初めて全面公開します。

また、お手元の資料の 2 ページの下段にあります縦長の写真をご覧頂きたいと思います。これは、横須賀の関東大震災の様子を記録した報告書で、海軍技師が雑誌への掲載用として書いた元原稿です。朱書きで囲まれている部分は、軍によって削除命令を受けた箇所です。この箇所は、報告書の刊行時には実際に削除されております。即ち、大正時代から一度も公開されていない資料であります。実際に削除された、震災当時の横須賀市内のパノラマ写真も展示しております。この報告書に関しましては、神奈川新聞、読売新聞、毎日新聞等各紙に記事が掲載されております。その他、米軍が撮影した戦時中と接收時の写真、近代建築や街並みを写した絵葉書や市民提供による懐かしい写真などを紹介しております。

動画の閲覧コーナーでは、ヴェルニー記念館に展示しておりますスチームハンマーの稼働時から解体・復原に至るまでの過程を記録した映像番組、小学校高学年以上を対象とした鉄とスチームハンマーに関する番組に加えまして、フランス・ブレスト市の海軍施設で使用中の1867年製スチームハンマーの記録映像番組を初公開しております。

ちなみに、ヴェルニー記念館に展示しております、国指定重要文化財の3トン及び0.5トンのスチームハンマーは、1865年オランダ製であり、ブレストより2年古いものであります。なお、映像関連の展示は、特別展示終了後には、常設展示に移設し、地域のニーズに対応した博物館の展示システムとして有効に活用し、市民による寄贈資料の追加などを行います。いずれも、子どもから大人までが、楽しみながら学べる内容となっております。

次にカラー刷りのチラシをご覧ください。タイトル「横須賀の近代建築 建造物が語る先進都市ヨコスカ」の下の写真は、横須賀造船所1号ドックで、江戸時代末期に着工され、明治4年に完成しましたが、現在も米軍基地内で稼働しております。

その下の絵は、昭和26年に作成された、横須賀市観光鳥瞰図ですが、戦前では許されなかった、旧軍施設内の描写もされております。

チラシの裏面をご覧ください。左側上から、明治3年ごろに完成した、ティポディエ官舎のイメージ図、大正2年完成のガントリークレーン、次が先ほど説明しました本市上下水道局逸見浄水場の建物で、国登録の有形文化財となっております。一番下は、現在の横須賀芸術劇場の所でありました、「EMクラブ」の写真で、昭和6年に完成した旧下士官集会所であります。

関連行事としては、担当学芸員による展示解説、博物館教室「三浦半島の都市建築史 横須賀の近代建築」、近代化遺産ツアーを予定しております。詳細につきましては、チラシをご覧ください。

最後になりますが、NHK教育テレビ「知るを楽しむ」シリーズ「この人この世界 ニッポン近代化遺産」8回シリーズの第1回「猿島砲台と横須賀製鉄所」が、10月1日(月)午後10時25分から10時50分まで、放送されますが、ヴェルニー記念館のスチームハンマーが登場する予定となっております。以上で、報告を終わります。

(出光委員)

チラシについてですが、入場料について有料または無料ということをご記載しておいた方がよいのではないのでしょうか。

(生涯学習部長)

博物館については、博物館法により、もともと入場が無料な施設となっております。美術館だけが例外とされていますが、博物館・図書館については無料となっております。

(出光委員)

特別展のような場合だと、一般の方には、もしかしたら有料かなと思うこともあるかと思います。

(奥寺委員長)

すでに展示が始まっていますが、集客の状況はいかがでしょうか。

(博物館運営課長)

初日は、かなり入りました。それ以降は、ポツポツというところですが、これから半年間という長い期間やっていますので。また年が変わりますと、映像等も入れ替えますので、宣伝をしながら集客を行っていきたいと思います。

その他報告事項

(生涯学習課長)

皆様のお手元にお配りしてあります「よこすかの文化財」が完成いたしましたのでご案内申し上げます。本書は、市制100周年記念事業の一環として、市内に所在する文化財をより広く知っていただくため、代表的な文化財の写真と簡易な解説、英文解説、見学のための所在地情報、地図等を掲載したオールカラー版で刊行をいたしました。内容的には、国指定、県指定、市指定などの文化財のほか、市民文化資産も含め、139点を掲載しております。制作冊数は5000部で、文化財所有者、市内全学校、市役所内全部課、行政関係等に無料配布、保管するほか、4000部を市民の方々には、1冊1500円で販売をいたします。内容がかなり充実しておりますので、お持ち帰りいただき、ぜひともご活用いただきたいと思います。

それともう1点ですが、平成17年(2005年)7月に全国近代化遺産活用連絡会が横須賀で開催されまして、その際に10月20日を「近代化遺産の日」にしようということが決定しました。その年から全国で事業が展開されております。これにあわせ、横須賀市では10月19日(月)に、冊子の118ページにあります「夏島貝塚」に所在する砲台跡、136ページの「貝山地下壕」を市民の方々を対象に見学いただく予定となっております。以上、報告させていただきます。

(質問なし)

6 閉会及び散会の時間

平成 19 年 9 月 14 日 (金) 午前 10 時 00 分

横須賀市教育委員会

委員長 奥 寺 康 彦